



The Supporters Times

サポーターズタイムズ



衆議院議員 秋葉賢也 政策・活動レポート

「次元の違う」成長戦略で日本を取り戻す!!

一日も早く「笑顔」を取り戻す



安倍政権発足からちょうど半年が経ちました。国会も延長なしで閉会しましたが、薬事法の改正案や再生医療新法などの重要法案が時間切れで継続審議になってしまったのは残念でなりません。何としても今夏の参議院選で勝利し、ネジレ国会を解消して安定の政治を取り戻し、「決める政治を」前進させなければなりません。

大胆な金融政策と機動的な財政政策という二本の矢は、すでに力強く放たれ、実体経済も目に見えるかたちで好転してきました。これから肝心なのは、三本目の矢である成長戦略の具体的な実行・実践です。その要諦は、民間のあらゆる創造的な活動を鼓舞し、国籍を超えたあらゆるイノベーションを日本の中で起こしていくことです。日本企業の持つ様々な「可能性」を解き放ち、世界に展開することにより、世界の発展に貢献するだけではなく、世界経済復活の主役になることです。

このため安倍総理は、新たな成長戦略を閣議決定しました。「民間活力の爆発」が成長戦略のキーワードだと訴え、達成すべき指標を年限も定めて明示しています。例えば、3年間で、民間投資を10%増の70兆円に回復すること。2020年までに、インフラ輸出の受注を30兆円に拡大することや外国企業の対日直接投資残高を2倍の35兆円に拡大すること。10年間で、農業・農村全体の所得を倍増することや1人当たりの国民総所得を150万円以上増やすことなどです。そして最終的に「家計が潤う」こと、この一点が重要です。家計を中心とした「成長の好循環」を完成させ、「停滞の20年」から「再生の10年」へ、大きく転換していかねばなりません。

この成長戦略を作文のままで終わらせないために、「次元の違う」政策と「次元の違う」やり方で、実行に移していきます。とりわけ私が所管している医療分野は、成長戦略の一丁目一番地です。すでに「健康・医療戦略」をとりまとめ閣議決定しました。

柱となる施策は、▽医療分野の研究開発で司令塔機能を担う「日本版NIH」の創設▽医療の国際展開▽健康寿命の延伸サービスの創出▽ICTの利活用の促進—などですが、次号1面で私の思いや考えをお伝えします。

「行動」なくして「成長」なし。今回こそ、日本がもう一度復活し、再び世界の真ん中で活躍できるかどうかの最後のチャンスだと自覚して、有言実行していく覚悟です。

厚生労働副大臣
復興副大臣

秋葉賢也

秋葉厚生労働副大臣 Active Photography

北海道の厚生関連施設を視察



北海道厚生局にて職員の皆さんに訓示。



抑制廃止と医療サービス向上をめざし取組みを進めている定山溪病院を訪問。

札幌市内の「むくどりホーム」も視察致しました。ここは、むくどりホーム・ふれあいの会の柴川明子代表が、障害のある方もない方も、赤ちゃんからお年寄りまで、地域の皆さんが気軽に立ち寄れるふれあいの場所として、札幌市が整備したバリアフリーの公園に面したご自宅を開放しておられます。当日は、歌を披露して秋葉副大臣を歓迎して下さいました。



柴川代表と秋葉副大臣



国立療養所「多摩全生園」



国立療養所「多摩全生園」を訪問した秋葉副大臣。



安倍総理と障害者の集い



秋葉副大臣は、官邸で開かれた「安倍総理と障害者の集い」に出席致しました。障害を乗り越えご自身の可能性を伸ばそうと前向きに社会参加を果たしていらっしゃる障害者の皆さんの作品や作業に向ける真摯なお姿に、力強さを感じたそうです。



世界禁煙デー 5月31日は



禁煙大使に任命された東尾理子さんと

厚生分野の国際協力強化について発言 秋葉厚生副大臣：TICAD V



TICADとは、アフリカ開発会議の略語であり、5年に1回開催されております。「5年前の会議でマダガスカル大統領を仙台にお招きしたのが懐かしい」と、秋葉副大臣は会場で当時を振り返って語っておりました。

秋葉副大臣「水道週間」のPR!



6月1日スタートの「水道週間」について、秋葉厚生労働副大臣が記者会見を行いました。



「認知症」に関する厚労省の取組みについて記者会見



認知症とは「生後いったん正常に発達した種々の精神機能が慢性的に減退・消失することで、日常生活・社会生活を営めない状態」をいい、推定認知症患者数は、2010年で200万人程度、2020年には462万人程度まで増加するとされております。秋葉厚生労働副大臣は、記者会見で認知症対策の現状について説明致しました。



第2回「健康・医療戦略厚生労働省推進本部」

タイ王国保健大臣による表敬訪問



プラディット・タイ保健大臣が、秋葉厚生労働副大臣を表敬訪問し、地域医療等について、秋葉副大臣と意見交換をされました。

アパカン・トルコ国連大使及びクルチ駐日トルコ大使の表敬訪問



クルチ駐日トルコ大使と、日・トルコ協力関係について意見交換



第二次安倍内閣 成長戦略

の概要

成長戦略第3の矢のキーワードは「民間活力の爆発」



毎日新聞6月6日朝刊より抜粋

首相が打ち出した成長戦略のポイント

第一弾 女性の活躍	保育所定員を40万人増 育休期間を3年に延長要請 日本版NIH(国立保健研究所)の創設
第二弾 世界で戦う	インフラ輸出を30兆円に! 世界大学トップ100に日本の大学10校をランクイン! 食糧輸出を1兆円規模に
第三弾 民間活力の爆発	1人あたり国民総所得水準を現在より150万円増 市販薬のインターネット販売を原則解禁 電力関係投資を30兆円規模に



第三次安倍政権「副大臣懇談会」



公邸(旧官邸)の入り口には、知恵の象徴とされる「ふくろう」の像があります。

【活動ブログ】 www.akiba21.net 【ツイッター】 @akibakenya 更新中! 秋葉賢也 検索

厚生労働副大臣 秋葉 賢也 復興副大臣

激励の集い 2013

愛知治郎参議院議員の司会進行に従い、田村憲久厚生労働大臣や根本匠復興大臣等からお話し頂き、盛会のうち幕を閉じることができました。ご多用にもかかわらず、ご出席頂きました皆様に、心から御礼申し上げます。



田村厚生労働大臣



秋葉厚生労働副大臣及び復興副大臣



根本復興大臣



タウンミーティング (国政報告会)
秋葉厚生労働兼復興副大臣と意見を交換してみなさんの声でより良い政治を創りませんか。

7月4日(木) 泉区
19時 @イズミティー21

7月12日(金) 若林区
19時 @ウエルサンピア仙台

7月19日(金) 宮城野区
19時 @宮城野区文化センター

秋葉副大臣 BSフジ「プライムニュース」に生出演!



「都市部の高齢化」対策について、秋葉厚生労働副大臣が、お応え致しました。

- ◎65歳以上の高齢者人口の増加数
2010年2948万人
→2025年**3657**万人(709万人増)
- ◎75歳以上の高齢者人口の増加数
(全体人口に占める割合)
2010年1419万人(11%)
→2025年**2179**万人(18%)
(約5人に1人が75歳以上高齢者)

らい病予防法・追悼式



仙台⇄東京

秋葉厚生労働・復興副大臣の活動報告写真



5日 衆厚生労働委員会で答弁



6日 衆総務委員会で答弁

秋葉副大臣は会見で「薬物の乱用が多様化していることを国民に広く知らせる必要がある、特に若年者への啓発を充実させるべきだ」と述べ、薬物乱用対策を強化する方針を表明した。

「脱法ドラッグ激増について」秋葉厚生労働副大臣のコメントが掲載 (毎日新聞記事より抜粋)

復興加速化へ! (改正被災マンション法・罹災都市借地借家臨時処理法) 被災マンション解体要件が緩和されます!

- ◎所有者の同意
「所有者全員」→改正後 →「5分の4」
地震等災害で建物が無くなった場合、「借主の借地・借家権」
- ◎借地借家法「借主の優先借地・借家権」
新法の適用 →「借主の優先借地・借家権」廃止

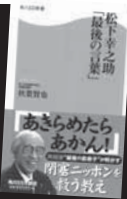


復興庁「幹部会議」



厚生労働省 幹部会議

多くの皆様にご購読いただき心より感謝申し上げます。全国の主要書店やアマゾン等のインターネットでもお求めいただけます。



『松下幸之助 「最後の言葉」』

秋葉賢也著(角川ISSC新書)定価760円

毎週金曜午後7時30分~

賢ちゃんの放送中 いとしのサザンPartⅢ

秋葉賢也のラジオ番組「賢ちゃんのいとしのサザンPartⅢ」が、毎週金曜午後7時30分より、FMいずみ(79.7MHz)にて放送中です。ぜひお聞かせください!

~ kenya's PLOFILE ~

- 昭和37年7月3日宮城県生まれ、50才。
- 角田高校を経て、中央大学法学部卒業、東北大学大学院法学研究科博士課程前期修了。
- 勸松下政経塾卒塾(第9期生 宮城県初)を経て、宮城県議会議員(三期)を務める。
- 厚生労働副大臣および、復興副大臣。衆議院議員(四期目)。
- 著書:『松下幸之助「最後の言葉」』(角川SSC新書)、『地方議会における議員立法』(文芸社)、『東北の夢創造』(ぎょうせい)。
- 趣味:スポーツ・音楽・映画。
- 特技:書道二段・空手初段。
- 尊敬する人:マザーテレサ、松下幸之助。
- 好きな言葉:努力+才能<志(努力や才能も大切だが、志に勝るものはなし)

秋葉賢也事務所
www.akiba21.net

仙台市泉区上谷刈4-17-16

Tel 022(375)4477
Fax 022(375)0057

購読料 年額6,000円
編集 (株)アクトジャパン

※ お願い 本紙「サポーターズタイムズ」を是非購読ください
⇒ お申込みは仙台事務所までお電話(☎022-375-4477)を!!

ハガキや切手を、是非、カンパ下さい!